

# 寺報

龍正寺

日なた 157号

# 眼

日  
延



# 目

<令和 3年 6月>

宝龍会  
護持会

# 令和3年大祈祷会開催しました

令和3年4月18日



今年度も役員によりお経を  
唱えさせて頂きました。

13時から檀信徒の方々によ  
るお参りが行われました。



熊手・絵馬・俵の祈願行っ  
ています。



ご自宅から持ってこられた仏様  
の祈祷をされる準備で、お上人に  
渡され清浄の間で祈祷します。



## 任職一言 御遺文觀心本尊抄より

新型コロナウィルス菌のワクチンが全国で接種が、始まりました。  
一日も早く終息する事を願います。

宗祖百蓮大聖人御遺文「觀心本尊抄」より

『天晴れぬれば、地明かなり。法華を識るものは世法を得べきか。一念三千を知らざる者には、佛、大慈悲を起して、妙法五字の袋のうろにこの珠をつつみ、末代幼稚の頸にかけさしむ。四天菩薩この人を守護したまわんこと。大公周公の成王を攝扶し、四皓が惠帝に侍奉せしに、異ならざるものなり』

【解説】 一天晴れて、天地明かなり如く、法華實教の内證に徹するものにして、始めて世間法の天変・地元の根元に達し、地震・彗星によって本化の出現を察知するのである。今や末法日本に、本化の菩薩佛の付属にあつて出現し、本未有善の機のため、本門の題目と本門の本尊とを弘宣したまふことは疑うべからざる事である。されば本門事一念三千の深理を知らざる末法一同逆機の爲めに、寿命の本佛は大慈悲を起して、此の事一念三千の珠を、妙法五字の袋につつみ、以て第五の五百歳、宋代の初心幼稚の衆生の頸にかけあたへたまふのである。この時、本化の四天菩薩は出現してこれら幼稚の者を守護し



たすはんことは、これを例せば、周の代に天公・周公が幼稚の成王を攝扶し、漢のよに高山の四皓が幼稚の慧帝に侍奉せんとことならぬのである。

宗祖日蓮聖人はこの様に説かれておられます。

私達の心か晴れる事で見える物が変つてきます。御題目を信じて唱えて下さい、知らず知らずの内に変化が起てくると思つて下さい。皆々様の幸せを心からお祈り申し上げます。

合掌

南

無

妙

法

蓮華

經

## ～ 前向きになれた心と時間 ～

コロナウイルス 第4波 感染者数は 今も減少傾向か  
みられません。しかし… 1年以上も続く長い戦いに、  
少しずつ慣れてきている部分もあります。

手洗い、うがい、マスク、フェイスシート!! 仕事上かなり  
意識していたのですが…。

休日、会社から、前日の訪問先のご家族がコロナウ  
イルス感染による陽性反応が出たので、とりあえず、今日  
から4日間休んで下さいと言われました。

”やっぱり…。”ご家族の方から、発熱、のどの痛みがある。  
病院で風邪と言われたと伺いました。違和感があり  
距離をとる事、マスクの着用をお願いしました。帰後は  
すぐ消毒等の対応をしました。出来る予防は全部したつも  
りでしたが、気持ちには不安でした。

仕事を休まなくてはいけない事、もし…移っていたら…  
とても落ち込みました。

心を落ち着かせようとおまんたご様の前で御題目を  
唱えていると、ふぁ～と気分が軽くなりました。

「この休日にもいつも出来なかった事が出来る。」

掃除、草むしり、衣替え... そうだ!! 仕事に追われて出来ていなかった事がたくさんある!!

体を休めれる。睡眠不足も解消できる!!

マイナスばかりではないな。"物事は考え方ひとつだ"。

何かこの間にひとつでも、新しい、楽しい事柄を見つけよう。...

法華経・祈禱経を唱えたい!! 毎日 ゆっくり心暖かになると気持ちも前向きになり、この時間を有効に使いたい!

法華経、御題目は「マイナスをプラスに出来る!!」

まだまだコロナウイルスとの戦いは続きます。

しっかり個々が出来る最善の予防対策をしましょう。

もし、予期せぬ出来事に遭遇しても、落ち着いて御題目を唱えると物事をプラスに思える力がわいてきます。今までの自分自身では、考えなかった様な思考がうかんできます。

4日間で出来た事は多く、心にゆとりが出来ました。

御利用者は陰性で自宅待機。私自身は濃厚接触者ではないが念の為の検査も陰性でしたので、仕事復帰できました。

今回の経馬臭でいつどこで感染の可能性があるか痛感しました。

気分一新、心身共に引き締めて行きたいと思います。

## —— 感謝の心 ——

私はスポーツ観戦が好きです。今はプロ野球を家事の合間に見ていますが、注目していた中日ドラゴンズの根尾選手が初ホームランを打った時は感動しました。それまで根尾選手は試合終了後最後まで残ってベンチの清掃をし、終わるとグラウンドに一糸して帰る姿を自にしていた。一軍に上がっても感謝の気持ちを忘れず、ご奉仕する姿に、「絶対に結果を残せる選手になる!!」と確信し、応援してきました。その予想を大きく上回り、初ホームランは何と満塁ホームランだったのです。インタビューでは、この喜びを伝えたいのは? という質問に対して、「ホームランを打ったのは両親が産んでくれたお陰なので両親にありがとうと伝えたいです」と答えていました。

他にも「令和の怪物」と呼ばれたロッテの佐々木投手。プロ初勝利となった日のインタビューでは「ウィニングボールはどうですか?」との質問に



「両親にプレゼントします」と答えていました。佐々木投手は、2011年の東日本大震災を経験しています。父親を亡くし、辛い小学生時代を過ごしてそうです。亡き父への思返れとも思えるこの言葉には感動しました。

両親への感謝の思い… 私達は両親がいてなければ“この世に生をうける事はない”。両親の両親がいてなければ…と“先祖様への感謝の思い”につまづいていきます。

子ども達に引き継ぎ、後世に残していける様  
精進していきます。

## 言成実な怠惰

あるテレビ番組で問題用紙の解答を見て、その人の性格がわかると言っていた。解答を記入した芸能人に対して『言成実な怠惰』であると...

どういうことなのか...

真面目なのだが、最後のつめが甘い。真面目ゆえに本人は、こんなに頑張っているのに、なぜわかってくれないと思う人が多いのが、この真面目な怠惰の人が考える事と...

解答用紙では、間違った所を黒く塗りつぶし、答えを上にかけていた。

解説した人は、相手の事が思えばなら解答用紙の裏面を使って書いて、本当の答えを枠の中に書く事が出来るはず、そこへの配慮が足りないとなるわけ...

相手がわかるように、見やすいようにという所が欠けている。つまり相手に対して考えられないという事が読めてしまう。

相手の事を理解して行動している人は五万という。この言葉を聞いた時には、自分にあてはまる、痛い所をつかれたと感じていた。

お人より、最後のつめが甘く、にっちもさっちもいかず  
けちらかしてしまう、確認・確認が大事だ。

これが出来れば「たいしたものだ」と言われていますが、  
何か忘れていたり、置きっぱなし、やりっぱなしがあり、  
反省する日々。

自分の方からしか物事が見えておらず、相手がどう思う  
か、思っていたかなど仕事を通して思い知らされる出来事  
もあり、最後のつめの甘さを痛感しました。

相手の事を考えて行動・話す事を心がけ、急情  
な人にならないようにしていきたいと思えます。

# < 6月の行事予定 >

6月13日(日) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会  
終了後 役員会

6月18日(金) 10:00~ 鬼子母尊神  
七面大明神 ) 祈禱会

# < 6月住職の予定 >

寺院を了 法務

# < 6月の予定 >

6月6日(日)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
12日(土)		
13日(日)	終了後	片付け、準備
14日(月)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
17日(木)		